

# 令和4年度 リーベルネットワーク会議 報告書

1. 開催日時：令和5年3月20日（月）13：30～14：40

2. 開催場所：八女市役所 黒木支所大会議室

3. 参加者：計23名

<内訳>

蓮の実団地・よろず屋・デュナミス・陽だまりの里・ゆうゆう・ワークスペースそらいろ・さんふらわあ・年輪の園・ふるさと・こころ・八まんなか・八女あかり・夢と希望・広川つくし園・HIROキッズ・すいれん・発達支援センターあおぞら・南筑後保健福祉環境事務所・八女市社会福祉協議会・八女市包括支援センター、八女市教育委員会、八女市知的障害者相談員。八女市障がい者福祉係・八女市障がい者基幹相談支援センター

4. 議事

(1) 報告事項

- ① 課題解決型部会<アウトリーチ部会>について（資料1） 質問、意見なし
- ② こども部会について（資料2）

【ふるさとより】

3/3 秋山先生との打ち合わせはとても勉強になった。不登校はダメなのか？自分自身「こうなければならない」と凝り固まった思考があった。効果測定。八女市内の不登校の数はどうなのか？アウトリーチの取りくみも頑張っている。自己満足にならずに、数をみたい。何十年も教育に関わっていないケースもあり、価値観が多様化している。色々な生き方を認める時代。子どもだけのサポートではなく、家族をサポートする時代。一事業所だけでなく、こんなに多くの機関があるので協力し合いながら、土台づくりの部会にできると良い、気持ちの面でも、困った時に共有できる体制づくりが出来ると良い。

【リーベルより】

何故、不登校が悪いのか？ひきこもりにも力があると聞いたことがある。凝り固まった考えが自分にもある。教育委員会や子ども関係の事業所にも意見を伺いたい。

【八女市教育委員会より】

子ども部会の説明があるので参加した。この場で不登校の人数は把握はしていない。年々、特別支援学級が増えている現状はある。部会の中で学校にどう依頼して行くのか検討が必要。

【広川つくし園より】

不登校の問題は、広川町の自立支援協議会でも課題に挙がっている。学校と繋がり共有出来たらいいと思う。

【HIROキッズより】

広川町の自立支援協議会では、就労部会と連携して、就労体験などの話し合いが始まっている。

【八女市知的障害者相談員より】

学校として教育現場の理解がある。部会に学校に参加してもらい、風通しを良くしてほしい。

【リーベルより】

アンケートに部会に向けてのご意見をお願いしたい。HIROキッズさんも広川ですが、ネットワークの会員であり、参画して欲しい。

(2) 協議事項

- ① 令和5年度からの課題解決型部会について「権利擁護部会準備委員会の提案」

#### 【リーベルより】

今まで、分科会として、子ども、生活、就労、相談分科会の活動は行ってきた経緯があり、生活支援分科会では、過去に成年後見の勉強会もシリーズ化で行ってきた。権利擁護とは、障がいをお持ちの方の権利を擁護するもの。成年後見や障害者虐待など幅広い意味で使われる。常に障害の仕事をするうえで必要なこと。虐待防止の研修会なども行ってるが、繰り返し学び続ける必要があると思われる。自立支援協議会でも、権利擁護部会の設置の必要性の意見があり、八女市内での障害者虐待が全くないわけでもない現状を考えると、地域の権利擁護について考える場所が必要と思ひ提案をする。何を取り組むのか、一緒に考えて頂ける方を募って部会を準備したいと思う。

資料3をご参照。他の地域の自立支援協議会で権利擁護部会がある所を抜粋している。

内容までは記載していないが、

- ・ 市民向けや、部会員向けの研修会(差別解消法、合理的配慮)
- ・ 権利擁護に関わる事例検討会
- ・ 意思決定支援の実態調査
- ・ 成年後見の中核機関の周知など、地域によりさまざま。

是非一緒に地域の権利擁護について取り組んで頂く方を募集。後で案内するアンケートに参加の意向をチェックする欄もある。又取り組みへの意見もお願いしたい。事業所の取り組みや活動についてご意見を伺いたい。

#### 【さんふらわあより】

各事業所でも研修会や勉強会をしている。考えて行ける場所があるのはいい。就労Aが4か所あるが、集まる場が出来なかった、取り組みは今から。

#### 【蓮の実団地より】

虐待研修を2回実施。話し合いの場があるのはいいと思う。

#### 【八まんなかより】

権利擁護は広いので、どんな内容で行くのか。事業所として虐待委員会の設置が義務つけられ、委員会を作り規約も作ったが形骸的となる現状がある。権利擁護については、取り組まないといけませんが広すぎる。何を、どんなところを目的にするのか定め、形づくって行くことが必要。

#### 【八女市地域包括より】

今年度、権利擁護推進チームを作った。職種毎をなくし、多職種のチームで手探りで行った。地域のケアマネと成年後見や虐待が主。今日の話聞いて一緒にやれるといいな、広がり合い、おもしろい。

#### 【発達支援センターあおぞらより】

県の事業の為単体で行うことはない。法人の研修会へ参加している。入所者への言葉使い、生活の質の向上を考えると、身近のところで考えることも必要。

#### 【年輪の園より】

身体障害の方は自分で発言出来、したいことを言われる。療育手帳の方は、一人では外出が出来ない、家族とも会えない。権利擁護を考えると難しい。

#### 【リーベル】

24時間対応する入所施設での権利擁護は難しいと思う。10月にスマイルフェスタで、障がいについての周知。皆で意見出し合い、市民啓発も行っていきたい。

ご意見を参考にしたい。是非アンケートへ参画のチェックをお願いしたい。参加希望が少ない際は、こちらからお声掛けをさせて頂きたい。ご協力をお願いしたい。

(3) その他

- ① 令和5年度の活動計画について (資料4)
- ② アンケートについて (資料5)
- ③ 研修会の案内 (発達障がい者支援センターあおぞらより)

「うちの火星人」

講師：平岡禎之氏・ワッシーナ氏

期日：4月8日(土) 13:30~16:00

会場：久留米シティプラザ 久留米座